

# 令和3年度 事業実績

## I 基本方針

我が国の農林業や農山村を取りまく情勢は、担い手の減少や高齢化の進行に加え、グローバル化の急速な進展など、大きな課題に直面している。

このような状況を踏まえ、本県の農業においては、持続的発展を図るため、新規就農者など地域を支える多様な担い手の確保・育成や、スマート農業等の先進技術による生産性の向上、6次産業化による収益性の確保・向上や高付加価値化、海外の小売店等と連携した販路開拓・輸出拡大に取り組んでいる。

また、本県の林業においては、「県森林・林業振興基本計画」に基づき、①森林整備・保全の推進、②担い手づくりと林業経営対策、③県産材の利用拡大・供給対策の強化、④特用林産物の産地づくり、⑤技術開発と普及の5本柱の施策を計画的に推進し、森林の公益的機能の発揮と林業の成長産業化の実現に取り組んでいる。さらに、「みんなの森づくり県民税」を活用し、森林環境の保全と森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策が展開されている。

このような中、当協会では定款に定める4つの事業について取り組んだ。

①農業後継者確保・育成対策に関する事業については、関係機関・団体と連携した就農・就業相談会等の開催や東京・大阪での「新・農業人フェア」への参加等により、U・Iターン者等に対する就農・就業相談活動を展開するとともに、農業後継者育成基金を活用した新規就農者や青年農業者グループ等に対する活動費の助成を行い、農業後継者の確保・育成等に取り組んだ。

②担い手農家の経営改善・向上に関する事業については、JA野菜担当営農指導員研修の開催や農業基盤整備予定地区の活性化計画の策定等に取り組むとともに、農業法人等の労働力不足に対応するため、「鹿児島県農業労働力支援センター」を運営し、労働力確保に向けた総合的な支援を行った。また、農林水産業の高付加価値化を図るため、「鹿児島6次産業化サポートセンター」を運営し、専門家派遣による商品開発や販路拡大等の経営改善戦略の策定・実行に係る支援を行った。

③農林業技術の改善向上・定着に関する事業については、県下7地区の農林技術協会の活動支援や市町村・農協等の農林業振興担当部課長等職員研修会を開催し、農林業施策や技術改善向上、農林業技術員の連携強化に努めた。

④県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等に関する事業については、「かごしまの農林水産物認証制度」（K-GAP）の審査・認証機関として305件、7,488人を認証するとともに「鹿児島県ふるさと認証食品」（3Eマーク）の審査・認証機関として、8品目の170製品を認証した。

令和3年度の主な行事・業務実績一覧表

主要行事・業務		時期	内 容
協会運営関係	会計監査	5/6	令和2年度事業実績・収支決算
	第1回通常理事会	5/11	令和2年度事業実績・収支決算，令和3年度収支予算（案）の一部変更，任期満了に伴う役員改選候補の選任について
	定時総会（書面）	6/1	令和2年度事業実績・収支決算，任期満了に伴う役員の改選について
	第1回臨時理事会（書面）	6/2	理事長，副理事長，専務理事の選任について
	第2回臨時理事会（書面）	7/19	新たな役員の選任候補（案）について
	第1回臨時総会（書面）	7/30	新たな役員の選任について
	第3回臨時理事会（書面）	8/12	副理事長の選任について
	内部定期監査	12/28	総勘定元帳，関係通帳等について内部監査
	公益法人立入検査	1/11	県の公益認定等審議会による検査 公益認定の基準の遵守状況，法人の組織及び管理・運営の状況，定期報告書類及び届出の状況，その他法人の業務の運営状況
第2回通常理事会（書面）	2/10	令和4年度事業計画・収支予算書（案），令和4年度会費の額及び納入方法（案），職員の給与等規程の改正（案）等	
農業後継者育成部関係	就農・就業相談活動	4回 —	相談件数（130件） 新・農業人フェア（東京・大阪） 30件 かごしま就農・就業相談会（新型コロナウイルス感染拡大により中止）
		7/21 年間	農大就農・就業相談会 10件 その他 90件
	農業後継者育成基金事業 審査委員会	7/9	基金事業申請者の適否審査 ・新規就農者経営発展支援事業 3件 ・農高・農大就農促進対策事業 農高・農大就農促進対策助成 12校 農大新卒就農者助成 20件 ・農業青年組織等活動活性化事業 県農業青年組織活動活性化助成 2団体 ・青年農業士育成事業 青年農業士認定者助成 20件 プロジェクト等成果発表者助成 1件 ・農業後継者特別支援事 12件

主 要 行 事 ・ 業 務		時 期	内 容
農 業 後 継 者 育 成 部 関 係	農業経営継承対策	年間	経営継承合意締結 0組 技術・経営継承実践研修 1組 マッチング支援 1組
	無料職業紹介	年間	農業法人等 14企業（求人数26名） 求職者紹介 4件
	農業次世代人材投資事業 確認調査	年間	研修就農状況確認調査 155件
	かごしま“わくわく”農業 体験	8/28	農業体験等の企画 ・申込者：18家族(57名) ・新型コロナウイルス感染症防止のため中 止（さつまいもやイチゴジャムの送付）
農 林 業 技 術 部 関 係	J A野菜担当営農指導員等 研修	11/16～19	野菜担当営農指導員の資質向上に係る研修 参加者 13名
	農業農村活性化計画の策定	10月 ～3月	農業農村基盤整備事業の実施予定地区の 活性化計画の策定 12地区
	「直売所ネットワークかご しま」の推進活動	年間	直売所ネットワーク会員のイベント情報 の掲載（さくらじまネット21） ・情報収集と関連情報の提供
	農業労働力支援事業 ・労働力確保に係る担当者 会	6月 ～3月	農業労働力確保対策に関する検討 ・農業労働力補完の仕組みの検討 8回 及び情報交換
	・鹿児島県農業労働力支援 センターの運営 (活動内容) 労働力の確保に向けた 総合的な支援	5/27  年間	農業労働力支援センター連絡会議（書面） 農業法人等からの労働力確保等に 関する相談 41件 各種情報収集 77回 ・求人・求職関係 ・省力機械やスマート農業関係 ・外国人材の受け入れ・活用関係 等
	・鹿児島県農業分野技能実 習制度適正推進協議会の 運営	4/27	推進協議会総会の開催 26名

主要行事・業務		時期	内 容
農 林 業 技 術 部 関 係	農業労働力確保に係るスマホアプリのモデル試行	11/22	指宿市担い手協議会と連携した1日農業バイト「デイワーク」に係る農家説明会
		県全体	令和4年3月末時点のマッチング実績 延べ606人日
	地区農林技術協会への助成	7地区	地区活動への助成金交付
	機関誌「緑地」の発行	年3回 (6, 9, 1月)	各号2,500部発行と会員への配布
	農林業振興担当部課長及び職員研修会	7/29~30	農林業職員を対象にした農林業施策等に係る研修 参加者数：76名
6 次 産 業 化 推 進 部 関 係	農林漁業者に対する相談窓口の設置	年間	農林漁業者等からの相談件数 22件
	6次産業化地域支援検証委員会の開催	第1回 4/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県プランナーの活動方針決定</li> <li>・県プランナーの選定 11名</li> <li>・支援対象者の決定 25事業者</li> <li>・重点支援対象者の決定 2事業者</li> </ul>
	学識経験者 3名 関係機関団体 4団体	第2回 10/22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県プランナーによる支援状況発表 1名</li> </ul>
		第3回 12/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援対象者に対する支援状況検討</li> <li>・県プランナーによる支援状況発表 3名</li> </ul>
		第4回 3/18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県プランナーの評価</li> <li>・支援対象者に対する支援状況</li> </ul>
	県プランナーによる経営改善支援 ・県内の専門家 登録プランナー数 11名 (支援内容) 現状分析 経営戦略の作成支援 6次化実践支援	年間	支援対象事業者数 25事業者  直接訪問による支援 戦略策定数 131回 23件
	中央プランナーによる支援 中央サポートセンターに登録された全国的な専門家 (支援内容) 販路拡大支援 加工技術支援 衛生管理計画作成支援	年間	支援対象事業者数 4事業者 直接訪問による支援 17回

主要行事・業務		時期	内 容
6 次 産 業 化 推 進 部 関 係	エグゼクティブプランナーによる支援 特に専門的なスキルを有する全国的な専門家 (支援内容) 経営分析, 経営戦略策定支援 販路拡大支援 (ECサイト活用, クラウドファンディング実施, 写真撮影, ホームページ改善等)	年間	支援対象事業者数 2 事業者 直接訪問による支援 14回 リモートによる支援 8 回 戦略策定数 2 件
食 の 安 全 推 進 部 関 係	かごしまの農林水産物認証判定委員会	毎月1回	かごしまの農林水産物の認証 ・ 認証件数 305件 〔 農産物 (野菜, 果樹, 米, 茶) 畜産物 (卵) 林産物 (原木栽培きのこ, たけのこ) 水産物 (エビ養殖, 海面魚類養殖) など 63品目 ・ 認証生産者数 7,488人
	ふるさと認証食品認証判定会議	年2回	ふるさと認証食品の認証
		9/29	・ 4 品目 12 業者 62 製品 〔 いも焼酎, いもかりんとう, さつまいもチップス, たけのこの水煮 〕
		3/25	・ 5 品目 20 業者 108 製品 〔 いも焼酎, 梅干し, 調味梅干し, 黒豚みそ, きびなごの乾製品・調味加工品 〕

## II 定款に定める事業ごとの実績

### 1 農業後継者確保・育成対策に関する事業（農業後継者育成部）

新規就農者の確保・育成を図るため、就農アドバイザーを設置し、訪問・電話・メール等による個別相談に対応するとともに、関係機関・団体と連携した就農・就業相談会等を鹿児島市や農大で開催した。

また、東京・大阪での「新・農業人フェア」に参加し、U・Iターン者等の就農・就業活動を展開した。なお、相談件数はその他の相談会や個別相談等を合わせ130件となった。

鹿児島県農業後継者育成基金（県、市町村、県農協連、農協からの出捐金10億円）については、運用益を活用して、新規就農者や青年農業者グループ等に対し活動費を助成した。また、就農支援資金の既貸付分の管理業務を行った。

農業経営継承については、技術・経営継承実践研修が1組あった他、マッチングに向けた支援を1組行った。

厚生労働大臣から許可を得て実施している無料職業紹介事業等は14法人から26人の求人があった。

また、専任の農業次世代資金指導員1名を配置し、農業次世代人材投資資金（準備型）給付中及び給付後の受給者への面談等を通じ、155件の研修就農状況の確認・報告業務を実施した。



〈新規就農支援ロゴマーク〉

#### (1) 新規就農者強化支援事業・新規就農相談事業（県：補助事業）

##### ①就農・就業相談活動の実績

相談会名	月	場所	主催者	相談件数
新・農業人フェア	9, 2, 1	東京 3回	(株)ツナグ・マッチング	22
	11	大阪 1回	グ・サクセス	8
かごしま就農・就業相談会	1	鹿児島市	協会	中止
県立農大就農相談会	7	県立農大	県立農大	10
みらいワーク"かごしま"	12	鹿児島市	県雇用労政課	3
その他・本部	随時	県庁協会内他	協会	87
合 計				130

##### ②農業経営継承支援

農業後継者のいない農業者の有する経営資産（農地、機械・施設、技術、経営ノウハウ、販路等）が将来独立就農を目指す意欲的な新規就農希望者などの第三者へ円滑に継承されるよう、情報提供や相談活動等の支援を行った。

なお、令和3年度末における経営移譲希望登録農家数は2件で、令和3年度の新規継承希望登録者は5名となっている。

##### 令和3年度 農業経営の第三者継承に係わる実績

マッチング	事前体験研修	マッチング成立	技術・経営 継承実践研修	経営継承合意書 締結・経営開始
1件	0件	0件	1件	0件

(2) 就農・就業を目指す人材育成事業(県：受託事業)

小中学生を対象に教育機関と連携しながら、農業への理解促進を図り、仕事としての農業の魅力を紹介するために、下記の体験ツアーを企画したが新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため中止とした。なお、後日さつまいもやイチゴジャム並びに関係資料を送付し、アンケート調査も実施した。

①農業に触れる体験ツアーの開催(予定)→中止

○期日・場所：令和3年8月28日(日) 県立農業大学校

○内 容：青果用さつまいも等の収穫体験、県内の農業高校紹介  
イチゴの加工体験 等

○参 加 者：18家族57名

(3) 農業後継者育成基金事業

①新規就農者経営発展支援事業

3名(日置市, 薩摩川内市, 鹿屋市), 助成額 600千円

②農高・農大就農促進対策事業

ア 農高就農促進対策助成

(単位：千円)

助成団体	事業費	助成額
農業系高校(11校14学科)	1,770	1,215

※新型コロナ感染拡大のため2校が助成金の一部を返納

イ 農大就農促進対策助成

(単位：千円)

事業内容	事業費	助成額
かごしま就農・就業相談会出席	210	200
新型コロナ感染拡大により、事業を実施できず助成金は返納		

ウ 農大新卒就農者助成

(単位：千円)

応募者数	助成決定数	助成額	就農場所
人 10	人 10	300	優秀賞10名：日置市(1)指宿市(1)南九州市(1)出水市(1) 志布志市(2)鹿屋市(2)奄美市(1)伊仙町(1)

③農業青年組織等活動活性化事業

ア 県農業青年組織活動活性化助成

(単位：千円)

応募団体	助成団体	事業費	助成	備考
2団体	2団体	400	300	鹿児島県農協青壮年組織協議会
		340	300	鹿児島県農業青年クラブ連絡協議会
合	計	740	600	

イ 地域青年農業者等グループ活動活性化助成

申請なし

④青年農業士育成事業

ア 講座制研修旅費助成

申請なし

イ 青年農業士認定者助成

令和3年度に青年農業士の認定を受けた20名への助成

助成額 200千円

ウ プロジェクト等成果発表者助成

1名（霧島市）

助成額 30千円

⑤農業後継者特別支援事業

(単位：千円)

市町村	団体名	事業費	助成額
枕崎市	枕崎市大塚周年菊研究会	360	200
さつま町・薩摩川内市	川薩地区農業青年クラブ	235	200
霧島市	牛飼い女子部（霧島市）	214	200
曾於市・志布志市	曾於地区農業青年クラブ連絡協議会	220	200
東串良町	東串良町ピーマン環境制御研究会	364	200
南さつま市	県立加世田常潤高校食農プロデューサー科	109	100
霧島市	霧島市立国分中央高校園芸工学科 ※サツマ任基腐病により事業中止され返納	<del>150</del> 0	<del>100</del> 0
日置市	農業大学校 農学部野菜科 (3)	300	300
	畜産学部肉用牛科	100	100
	畜産学部酪農科	116	100
合計	11課題	2,018	1,600

(4) 農業次世代人材投資事業（県：受託事業）

専任の農業次世代資金指導員1名を設置し、農業次世代人材投資資金（準備型）給付中及び受給後の受給者への面談やほ場確認等を通じ、就農状況の確認・報告業務にあたりるとともに、農業経営の定着・発展に向けた効果的な支援を実施した。

○対象者の調査件数： 155件

2 担い手農家の経営改善・向上に関する事業（農林業技術部・6次産業化推進部）

経営体質の強い経営体を目指す認定農業者等の育成を図るため、JA営農指導員の研修を開催するとともに、基幹的な農産物直売所等設を対象にした管理運営のフォローアップ活動や直売所ネットワークに参加している直売所のイベント等の情報提供を実施した。

また、農業労働力支援センターや6次産業化サポートセンターの運営を通じ、農業法人等の労働力確保や6次産業化の取組を支援した。

(1) JA野菜担当営農指導員等研修（県経済連：受託事業）

JA野菜担当営農指導員等を対象に、栽培技術や産地育成など現場での指導能力を高めるための研修を実施した。

○基礎研修：令和3年11月16日～11月19日

参加者 13名

(県農業開発総合センター農業大学校 研修館)



## (2) 農業農村活性化計画の策定（県土改連：受託事業）

農業農村基盤整備事業（中山間地域型及び担い手支援型等）の実施予定地区の農業農村活性化計画を策定した。

○対象地区：12地区

※荒川内地区（薩摩川内市），舟木地区（さつま町），木渋地区（さつま町），浜漣仁田原地区（長島町），第四曾於南部地区（大崎町・志布志市），野間西部地区（中種子町），鈴岳地区（屋久島町），大川地区（奄美市），嘉手浦地区（喜界町），手々知名地区（和泊町），後蘭地区（和泊町），知名屋子母地区（知名町）

## (3) 農業労働力支援事業（県担い手・地域営農対策協議会：受託事業）

農業法人等の経営発展に必要な農業労働力の確保等を支援する「鹿児島県農業労働力支援センター」を運営し，専任の「農業労働力支援員」による農業分野における求人・求職の情報収集，マッチングや労働力軽減につながるスマート農業の紹介等を行った。

また，「鹿児島県農業分野技能実習制度適正推進協議会」と連携し，外国人技能実習制度等の情報収集・提供を行った。

### ①鹿児島県農業労働力支援センターの活動

ア 労働力確保に係る担当者会	8回
イ 農業労働力支援センター連絡会議（コロナ感染防止のため中止）	
ウ 農業法人等からの労働力確保等に関する相談活動	41件
エ 求人・求職や省力機械，スマート農業，外国人材の受け入れ・活用等に関する情報収集及び提供活動	77回

### ②「鹿児島県農業分野技能実習制度適正推進協議会」との連携

ア 農業分野技能実習制度適正推進協議会総会 （令和3年4月27日：アートホテル鹿児島）	26名
イ 監理団体等との意見交換会（令和3年10月5日：アートホテル鹿児島）	28名
ウ 農業分野外国人技能実習制度研修会 （令和3年11月19日：アートホテル鹿児島）	52名
エ 外国人技能実習制度等に関する情報収集	11件

### ○農業労働力マッチングアプリのモデル試行への取組み

指宿市担い手育成総合支援協議会と連携し，鎌倉インダストリーズ株式会社が運営する1日農業バイトアプリ「デイワーク」を活用した農業労働力のマッチングをモデル的に導入・試行した。

- ・いぶすき1日農業バイト農家説明会（11月22日，南薩地域振興局指宿庁舎会議室）
- ・デイワークによるマッチング実績（3月末，10農家利用，延べ606人日）

#### (4) 6次産業化推進事業（県：受託事業）

6次産業化を推進するために「鹿児島6次産業化サポートセンター」を運営し、農林漁業者等からの相談に対応するとともに、6次産業化に取り組む農林漁業者等の経営改善戦略の作成及び実行を支援するために県プランナーを派遣した。

県プランナーで対応が困難な取組については、中央サポートセンターに6次産業化中央プランナーの派遣を依頼し、連携して支援を行った。

また、重点的に支援する必要がある農林漁業者等に対して中央サポートセンターに6次産業化エグゼクティブプランナーの派遣を要請して支援を行った。



〈6次産業化のマーク〉

##### ①相談窓口の設置

- ・電話等による相談件数 22件

##### ②県プランナーによる支援

6次産業化地域検証委員会で選定した支援対象者に6次産業化県プランナーを派遣して、経営改善支援計画の作成支援及び実行を支援した。

- ・県プランナー数 11名
- ・県プランナーによる支援事業者数 25事業者
- ・県プランナーによる支援回数 131回
- ・経営戦略作成数 23件

##### ③中央プランナーによる支援

全国段階の専門家である中央プランナーを派遣し、経営戦略の実施を支援した。

- ・支援対象事業者数 4事業者
- ・直接訪問による支援 17回
- ・支援内容：販売先の紹介などによる販路拡大支援、HACCPに対応した衛生管理計画の作成支援、加工技術に関する指導

##### ④エグゼクティブプランナーによる支援

地域検証委員会で選定された重点支援対象事業者に対し、中央サポートセンターにエグゼクティブプランナーの派遣を要請して支援を行った。

- ・支援対象事業者数 2事業者
- ・直接訪問による支援 14回
- ・リモートによる支援 8回
- ・経営戦略作成数 2件
- ・支援内容：経営分析、経営戦略策定支援、販路拡大支援（ECサイト活用、クラウドファンディング実施、写真撮影、ホームページ改善等）

### 3 農林業技術の改善向上・定着に関する事業（農林業技術部）

技術革新と情報化の進展，国際化に的確に対応した農林業技術の改善向上が求められる中で，高度な技術を修得し農業者等のニーズに応えるため，農林技術研修会等を開催するとともに，機関誌「緑地」の発行等を通じて指導者の技術向上を図った。

#### (1) 地区活動促進対策事業（自主事業）

各地区での農林業技術者の活動を支援し，地域農林業の振興を図った。

①県下7地区農林技術協会に対する活動経費の交付

②技連活動促進に係る対策会議等の開催

地区農林技術協会事務局会議：令和3年5月8日（ウェルビューかごしま）

→新型コロナウイルス感染症対策のため書面開催

#### (2) 機関誌等発行事業（自主事業）

農林業指導者を対象に，新政策や新技術情報等について紹介した機関誌「緑地」を年3回，各号2,500部発行した。（234号/夏号6月，235号/秋号9月，236号/春号1月）

#### (3) 農林技術研修事業（自主事業）

①総合研修会

ア 離島総合研修会（大島地区）（新型コロナのため中止）

イ 農林業振興担当部課長及び職員研修会

○日時・場所：令和3年7月29～30日 かごしま県民交流センター

○参加者：76名

#### (4) 永年勤続農林業指導者表彰事業（自主事業）

農林業指導者の永年にわたる功労に対し表彰を実施した。

○令和3年度農林業技術員退職者 54名

#### (5) 先端技術情報の収集・整理・蓄積・提供等に関する事業

先端技術情報，地域農林業の振興に関する情報，生産・流通情報等の内容充実や各部の的確な情報更新を図り，各種媒体を通して会員並びに消費者等，不特定多数の県民に対して積極的な情報発信に取り組んだ。

①機関誌「緑地」による新技術や重点施策等に関する情報提供

（6，9，1月の年3回，各2,500部）

②ホームページ「さくらじまネット21」の内容充実と的確な更新

○ホームページ訪問数：26,583件（令和3年度実績）

○かごしまの農林水産物認証状況や就農相談，農業労働支援等に係る情報等を掲載

○県内農産物直売所に係る情報収集と提供

「直売所ネットワークかごしま」の各種イベント情報等の収集・提供

#### 4 県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等に関する事業（食の安全推進部）

県では、消費者の食の安心・安全に対する関心が高まっている中で、安心・安全な食の供給に係る認証制度の取組や、消費者に顔の見える農林水産業の推進に努め、本県農林水産物に対する消費者の安心と信頼の確保を図っている。

当協会は、県から「かごしまの農林水産物」と「ふるさと認証食品」の審査・認証機関として指定されており、県の基準に基づき審査・認証業務を行った。

##### （1）かごしまの農林水産物審査・認証事業（審査・認証機関）

東串良町ピーマンの再認証（18回目）など、野菜201件、果樹50件、米19件、たけのこ2件、原木栽培きのこ8件、菌床栽培きのこ4件、卵5件、茶13件、エビ養殖2件、海面魚類養殖1件の合計305件（新規5件、再認証300件）の農林水産物を認証した。



< K-GAPマーク >

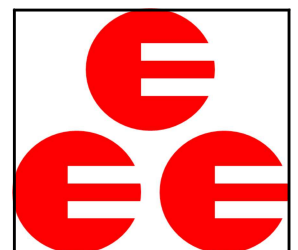
○かごしまの農林水産物の認証実績

認証の区分	令和3年度	
	認証件数	認証生産者数
野菜	201	6,070
果樹	50	974
米	19	165
たけのこ	2	6
原木栽培きのこ	8	14
菌床栽培きのこ	4	4
卵	5	20
茶	13	224
エビ養殖	2	2
海面魚類養殖	1	9
計	305	7,488

※茶の認証工場数は(103)

##### （2）ふるさと認証食品の審査・認証事業（審査・認証機関）

県では、県内に古くからある伝統の製造方法による食品や、特徴ある県産原材料の良さを活かした食品、独自の技術により生産された特色のある食品について、製造方法や使用原材料等の基準を定め、これに適合するものを「ふるさと認証食品」として認証し、品質のよい地域の特産品の振興を図っており、当協会は、現在、28品目の対象のうち20品目の審査・認証機関となっている。



< 3Eマーク >

令和3年度は、前期に「いも焼酎」をはじめ4品目、12業者62製品、後期は「いも焼酎」をはじめ5品目について、20業者108製品、合計で8品目、32業者、170製品を認証した。

【参考】認証された製品については、3年間、Excellent Quality（優れた品質）、Exact Expression（正確な表示）、Harmony with Ecology（地域の環境との調和）を証明する「3Eマーク」を付けて販売できる。

○ふるさと認証食品の認証実績（令和3年度）

品目名	前期(9/29)		後期(3/25)		合計	
	業者数	製品数	業者数	製品数	業者数(延べ)	製品数
いも焼酎	8	48	14	99	22	147
梅干し			2	2	2	2
調味梅干し			1	3	1	3
いもかりんとう	1	4			1	4
さつまいもチップス	1	2			1	2
黒豚みそ			2	3	2	3
たけのこの水煮	2	8			2	8
きびなごの乾製品・ 調味加工品			1	1	1	1
計	12	62	20	108	32	170

